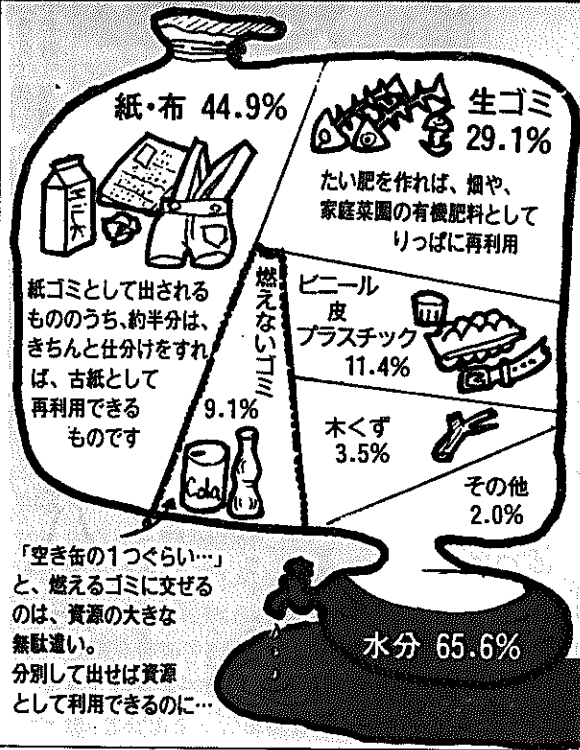


# 燃えるゴミの日... ゴミ袋の中身拝見



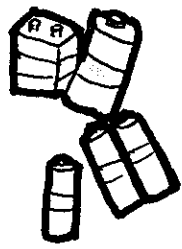
◀毎年、小学生が「ゴミ処理の見学」に訪れます。「ここで学んだことを、ぜひ家で話し合ってください」と衛生センター。(写真は大通小学校四年生)

# ゴミの行方は...

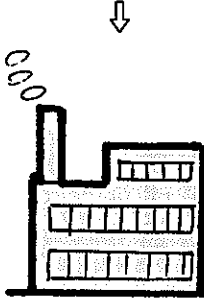
家庭から出されたゴミは焼却するだけではありません。資源として再利用できるものはすべて再利用されています。ゴミをきちんと分別して出すことは資源を守る第1歩です。



## 廃乾電池

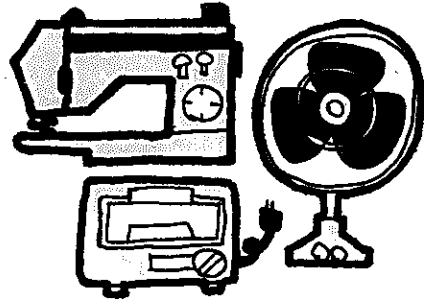


1年分(7~8t)をまとめる

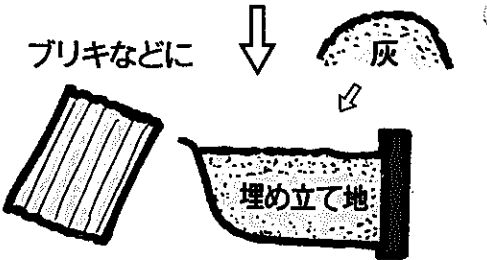
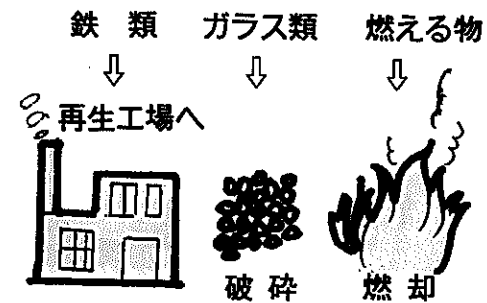


日本で1カ所  
北海道にある  
再資源化工場へ  
↓  
水銀を取って  
別の物に利用

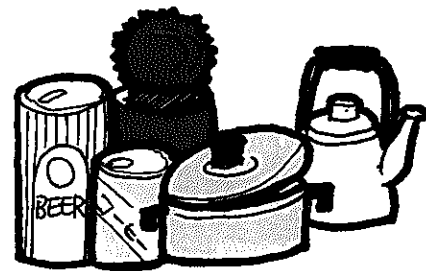
## 粗大ゴミ



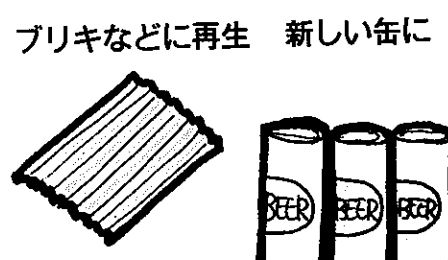
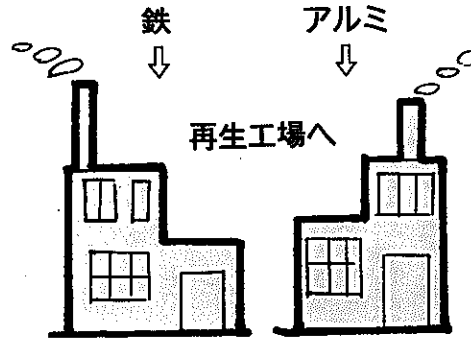
解体



## 鉄・缶



磁石で選別

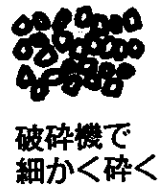


## ガラス・瀬戸物



ガラス

瀬戸物

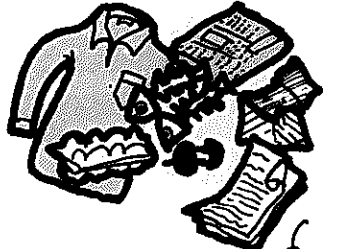


破碎機で細かく砕く

リサイクルセンターへ



## 燃えるゴミ



燃却

灰

埋め立て地

# もう一度確認、ゴミの出し方

白根衛生センター組合(☎372・3701)

- 1 「燃えるゴミ」と「燃えないゴミ」は絶対に交ぜない
  - 2 「燃えるゴミ」と「燃えないゴミ」は水切りを十分に
  - 3 生ゴミは水切りを十分に
  - 4 スプレー缶は穴を開けるか、つぶす
  - 5 衛生センターでは農業用ビニール、ガスボンベ、農薬、危険物、燃料などの容器は収集も処分もできません。専門業者に依頼を
  - 6 引っ越し、大掃除などで大量にゴミが出る場合は直接衛生センターへ(有料)
  - 7 事業所のゴミは直接衛生センターへ(有料)
- ゴミの集積所はゴミ捨て場ではありません。収集日を確かめてから、きちんと出しましょう。美しいまちづくりのために最低のルールは守りたいものです。
- 1 「燃えるゴミ」と「燃えないゴミ」の種類ごとに、決められた日の午前8時まで集積所へ



笹川 芳治さん (笹川清掃・味方村)

## 心温まる「ありがとう」

ゴミを出すマナーは最初のころから比べるとよくなりました。街の中の集積所はよく管理されているようですが、比較的人家から離れた集積所は、収集できないゴミが出されているなど、マナーの悪い所もあります。

困るのは、前の晩からゴミを出して、それをカラスや犬、猫が荒らす場合です。ふたのある集積所でも、カラスには効き目がありません。網の目から突っついて上手に(?)荒らします。

袋が破れてゴミが散乱したり、持ったとたんにゴミの汁がパシッと掛かることもあります。

それに、電化製品などの大きな箱にゴミを入れて出されても収集車に入らない場合があります。そんなときは中身を出し、カッターで箱を切っています。

収集した後、集積所がきれいになると気分がいいですね。集積所の所に「いつもありがとう」と書いた紙などがあつたり、「ご苦労様」と声を掛けられるとうれしくなります。この仕事をしています。



大野 美沙さん (大鷲小・4年)

## ゴミしより場を見学して

「ゴミしより場を見学して、大変びっくりしたことは、一日に六十トンでも、もやしきれないということ。十五トンもやするが四台ありました。それでも足りないのです。こんなにたくさんのごみもやされていなんて、知りませんでした。」

ごみは、少なくすることはできるのに、みんなが大切に物を使っていないからたままる一方です。そごみ置き場には、使えそうなタンスなどが、たくさんありました。ごみをふやさないように、みんな工夫して、ごみがへっていきばいいなと思いました。今あるうめ立て地は、あと三年でいっぱいになってしまいうそうです。

それにカンやビンは、リサイクルセンターに送るそう、おじさんたちがビニール袋を一つ一つ開いていました。ゴミをしよりすることはとても大変な仕事だと思いました。